

恩忘れの天才（士師 8:33-35）

士師ギデオンが死んだあと、イスラエルの民は、すぐにいつもどおりみごとに悪を行い、偶像に戻りました。イスラエルを助けたギデオンとその家族への恩を忘れてしまいました。大きな奇跡を見て、勝利を味わっても、イスラエルはあまりにもよく忘れるので、あだ名として「恩忘れの天才」とつけても良いのではないのでしょうか。なぜ、そのようにすぐに恩を忘れるのでしょうか。その答えを受けて、イスラエルと同じ失敗を犯さないで、勝利の道を歩みましょう。

イスラエルが恩をすぐに忘れるのは、霊的な感覚がマヒしていたからです。みわざを見て、力を体験しても、すべて肉のレベルで留まっていた。みわざの解釈も、神様に叫び求めることも、すべて肉のレベルです。肉によって、現実の状況が左右されます。つらいときだけ、神様を求め、安泰なら、信仰がなくなります。イエス様の当時でも、2匹の魚と5つのパンでお腹がいっぱいになったら、ハレルヤと言っていたのですが、霊的なことはわからず、生かすのは霊だと言われたら、意味がわからずに去っていきました。霊的な感覚がマヒしていたので、神様のまことの恵みを知ることはできなかったのです。そこには、裏にサタンが働いていて、神様の本当の恵みを知ることができないようにさせているのです。恩忘れになるのは、みごとにサタンにやられていることです。イスラエルは、サタンの邪魔によって、神様のまことの恵みを知ることができませんでした。

神様のまことの恵み、そして、神様が知らせようとしていたのは、「キリスト」です。罪とほろびの運命の中にいる罪人を愛して、罪から救うために女の子孫、キリストを送ることを約束してくださいました。神様はキリストの父なる神様です。これを知ることが、まことの恵みです。不思議な奇跡で勝利したのですが、それはキリストを知らせるためです。そのキリストが約束どおりに処女マリヤから誕生して来られました。十字架ですべての罪を負って救いの道を開き、死の力に打ち勝ってよみがえって天にのぼり、救いを完成されたイエスがキリストです。すべて完成され、罪人の私にた

だで救いを与えてくださいました。値なしで与えられること、それが恵みです。いままでにない法則である、ただ信仰によって生きようにして下さいました。信じる者には、永遠のいのちの祝福が与えられます。生まれながら御怒りを受けるべき子で、滅びの運命、罪と死の原理の中にいた私ですが、信じただけで、永遠に解放されます。これがまことの恵みです。悪魔の子だったのに、信じただけで、神様を父と呼べる存在に変わりました。空中の権威を持つ支配者であるサタンに従っていた者が、信じることによって、聖霊が内住される、貴重な神の神殿になりました。罪人がきよめられます。この恵みは、だれも奪うことはできません。人は一度死ぬことが定まっていたのですが、罪人のままなら、サタンとともに地獄に行くしかないのですが、キリストによって、天の御国の国籍が与えられ、いつ死んでも、永遠の天国に迎え入れられる恵みを受けました。そして、世の中にいる間は、いままでとはちがう、衣食住のために生きるのではなく、尊いたましいが救われるための価値ある理由、つまりイエスの証人として生きて行くようになります。なにかをどうするかは、まったく関係なく、イエスの証人として生きる、イエスの霊が宿っている者です。このようにイエスの証人となるというひとつの理由によって堂々と生きようにして下さいました。これがまことの恵みです。この恵みは、どんな被造物も奪うことができない、永遠のいのちの祝福です。これが恵みで、まとめて言うなら「キリスト」です。

イスラエルは、奇跡を見てもキリストは知りませんでした。いけにえや、礼拝をささげても、キリストには届かなかったので、恩忘れの天才となったのです。それなら、神様のまことの恵みを正しく知り、忘れないなら、必ず勝利します。これを契約として心に刻みましょう。そして、イエス様を信じるなら、「神様の恵みを忘れることができない者になった」となりました。**神様の恵みによって、忘れることができない者に造り変えられてしまった**のです。これを信じましょう。助け主聖霊がともにいて、思い起こさせて、忘れないようにさせてくださ



います(ヨハネ 14:16-17)。キリストが十字架で完了されて、いま、聖霊を通して内におられるので、本当の恵みを思い起こさせてくださいます。信者である私は、恵みを知ることができる者、恵みを感謝して、賛美できる者になっています。信じることによって、暗やみの勢力が縛り上げられ、退けられるようになっている勝利の主人公となっています。聖霊が内に住んでくださって、忘れると、聖霊がうめきをもってとりなしてくださいます。ですから、恵みを忘れることはできません。自信をもって告白して宣言しましょう。サタンは、キリストより大きいものがあるかのようにだまします。問題、弱さ、失敗は、恵みより大きくはありません。だまされなければよいのです。士師記を繰り返すことはありません。

これからは、忘れないようにではなく、**積極的に恵みを思い起こせばよい**のです。そして、信仰生活で勝利の門があらゆるところで開かれることを体験しましょう。恵みのほうが大きいので、弱さ、環境、過ちで不信仰を言い訳にすることはできません。恵みにのめり込む信者になりましょう。それ

をするのに、絶好の時が礼拝です。礼拝で、賛美、祈り、メッセージに集中して、不思議な恵みを確認しましょう。そして、恵みを普段から確認しましょう。朝に目覚めてすぐに、恵みの中に入りましょう。夜に寝る前に、キリストにある恵みに入りましょう。恵みを思い起こすことを繰り返しましょう。つらいとき、大変なとき、感情がおさまらないとき、処理しようとせず、そのままキリストの恵みの中に入りましょう。ほかの方法を求めずではなく、そのまま聖霊が恵みに引っ張ってくださいます。聖霊に勝てる者はだれもいません。すぐに変化しなくてもかまいません。サタンは、感情、問題、人間に溺れるようにさせますが、まことの恵みの中に入ることはありません。キリストはいまも教会の頭で、恵みを与えてくださいます。これが信じる者の特権で、生きる方法です。理由なく恵みに入りましょう。もうひとりの助け主の聖霊のメインジョブは、信者がまことの恵みを思い起こすようにしてくださいます。そして、その恵みにどっぷり入るように、聖霊がしてくださいます。

(<http://jremnant.com> に音声と動画が出ています)

士師記 8:33-35 恩忘れの天才

なるほど/ 霊的感覚が麻痺してる人は、神様のわざを体験しても、真の恵みを悟れず失敗を繰り返すことになる。なら、神様の真の恵みを忘れることさえなければ、その人は必ず勝利するするし、信者は助け主(聖霊)によりその主人公である。

ならば/ 神様の恵みを確認する礼拝に集中しよう。そして、普段から積極的に恵みを思い起こす生活にしよう。苦しくて大変な時は、より積極的に恵みを思い起こそう。

インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文 (2019年9月1日)

1部礼拝：私と時代を生かすことができます(マタ 16:13-20)

私が受けている苦痛、苦難、経済の苦しみ、教会の苦しみを見ながら、神様が願っておられる答えを握るようにして下さり感謝します。別のこと、誤ったことを握らずに、私の主人であるキリスト、まことの福音を握って暗やみに勝つ身分を回復しますように。岩の上に立てる権威、暗やみにかつ権威、御国のかぎを味わうものすごい権威を回復しますように。世の中が止められず、私も知らない、まだ残っているものすごい力を持って生かしますように。福音の三つの祝福を握って、危機に挑戦しますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

2部礼拝：まことの神殿を建てましょう(マタ 17:1-9)

神様が願っておられるまことのビジョンを持って、神様のみわざを成し遂げる神殿を建てるようにして下さり感謝します。旧約に預言されたキリストの契約を237カ国に知らせる教会と神殿を準備しますように。成就されたキリストの契約をただキリスト、神の国、ただ聖霊を62の生活を持って説明する神殿を準備しますように。契約の箱に従って123神殿が失ったレムナント、237多民族、癒しとサミットを回復する神殿を建てますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン